

## 第19章 自転車損害賠償保険への加入【問62～問63】

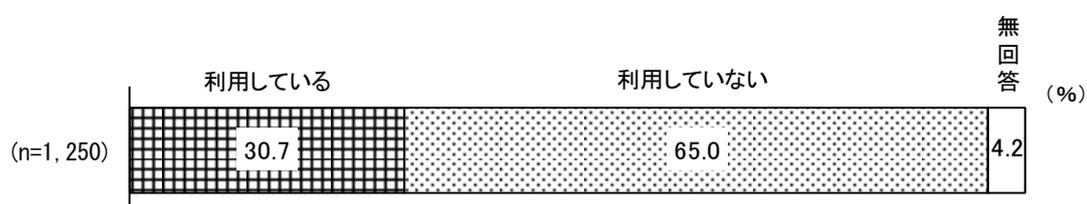
### 1 自転車の利用状況【問62】

#### 【全体の状況】

通勤や通学、その他日常生活で自転車を利用しているか尋ねたところ、「利用している」が30.7%であった。

一方、「利用していない」は、65.0%となった。(図表19-1-1)

図表19-1-1 自転車の利用状況



#### 【地域別の状況】

地域別にみると、「利用している」は、相模原が37.8%で最も多く、次いで湘南が37.6%であった。一方、「利用していない」は、横浜が70.5%で最も多かった。(図表19-1-2)

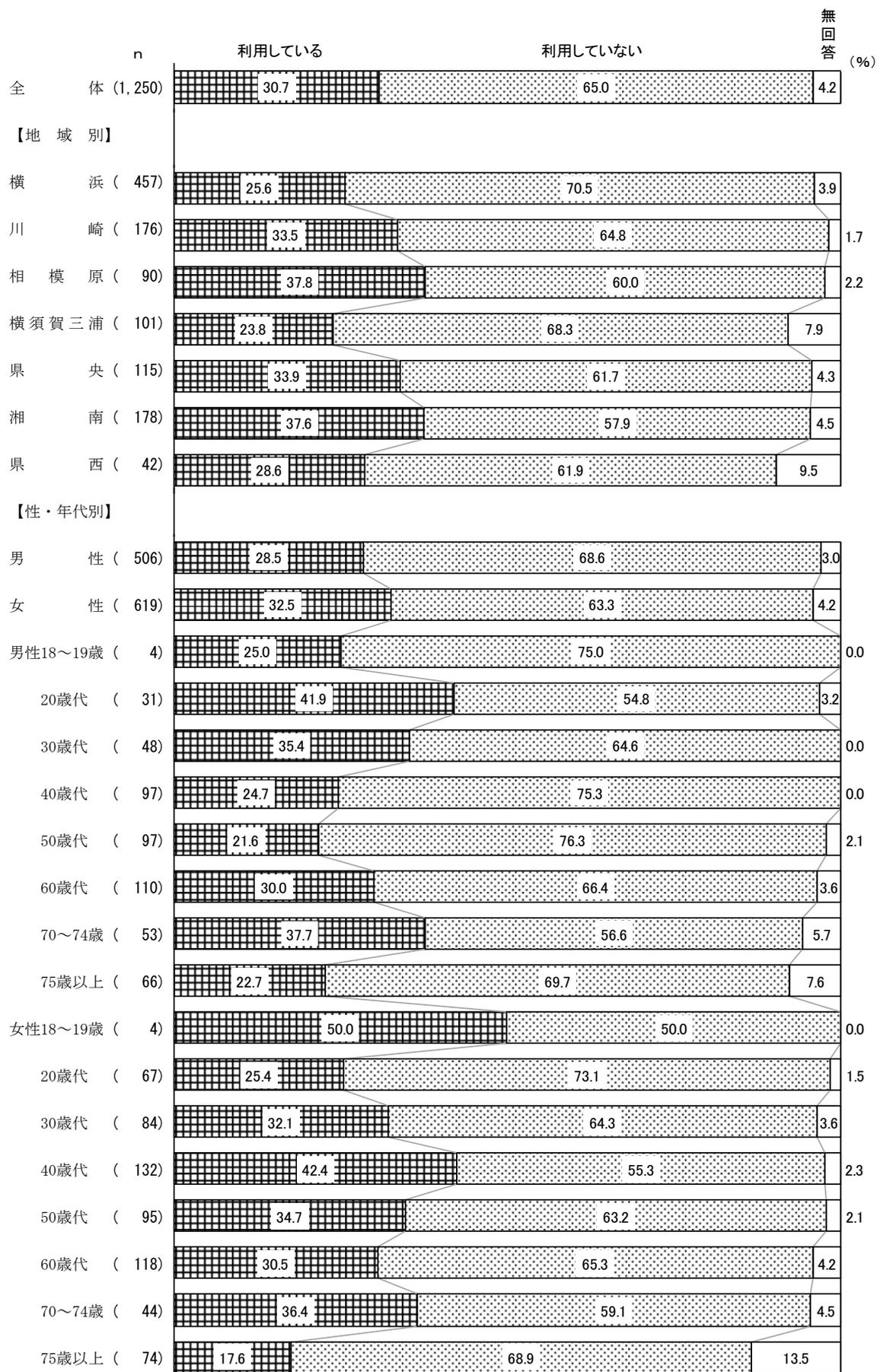
#### 【性・年代別の状況】

性別にみると、「利用していない」は、男性(68.6%)が女性(63.3%)を5.3ポイント上回った。

性・年代別にみると、「利用している」は、サンプル数の少ない女性の18～19歳を除くと、女性の40歳代が42.4%で最も多く、次いで男性の20歳代が41.9%であった。

一方、「利用していない」は、サンプル数の少ない男性の18～19歳を除くと、男性の40歳代(75.3%)・50歳代(76.3%)、女性の20歳代(73.1%)がそれぞれ7割台で多かった。(図表19-1-2)

図表19-1-2 自転車の利用状況—地域別、性・年代別



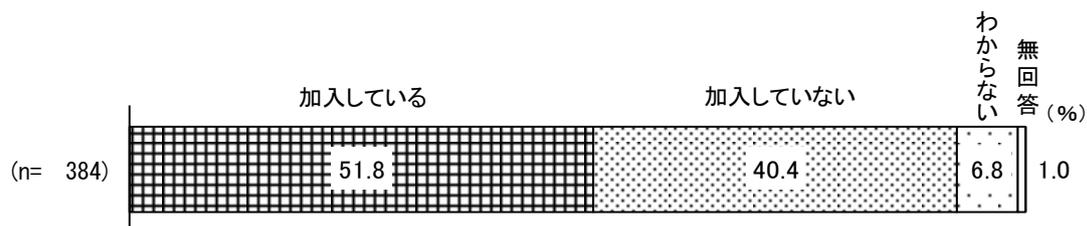
## 2 自転車損害賠償保険への加入の有無【問62-1】

### 【全体の状況】

自転車の利用状況（問 62）で、「利用している」と回答した 384 人に、自転車利用中に事故を起こした際に、相手方の損害を賠償することができる保険（自転車損害賠償保険）に加入しているか尋ねたところ、「加入している」が 51.8%となった。

一方、「加入していない」は、40.4%であった。（図表 19-2-1）

図表19-2-1 自転車損害賠償保険への加入の有無



### 【地域別の状況】

地域別にみると、「加入している」は、相模原が76.5%で最も多かった。

一方、「加入していない」は、県西が75.0%で最も多かった。（図表19-2-2）

### 【性・年代別の状況】

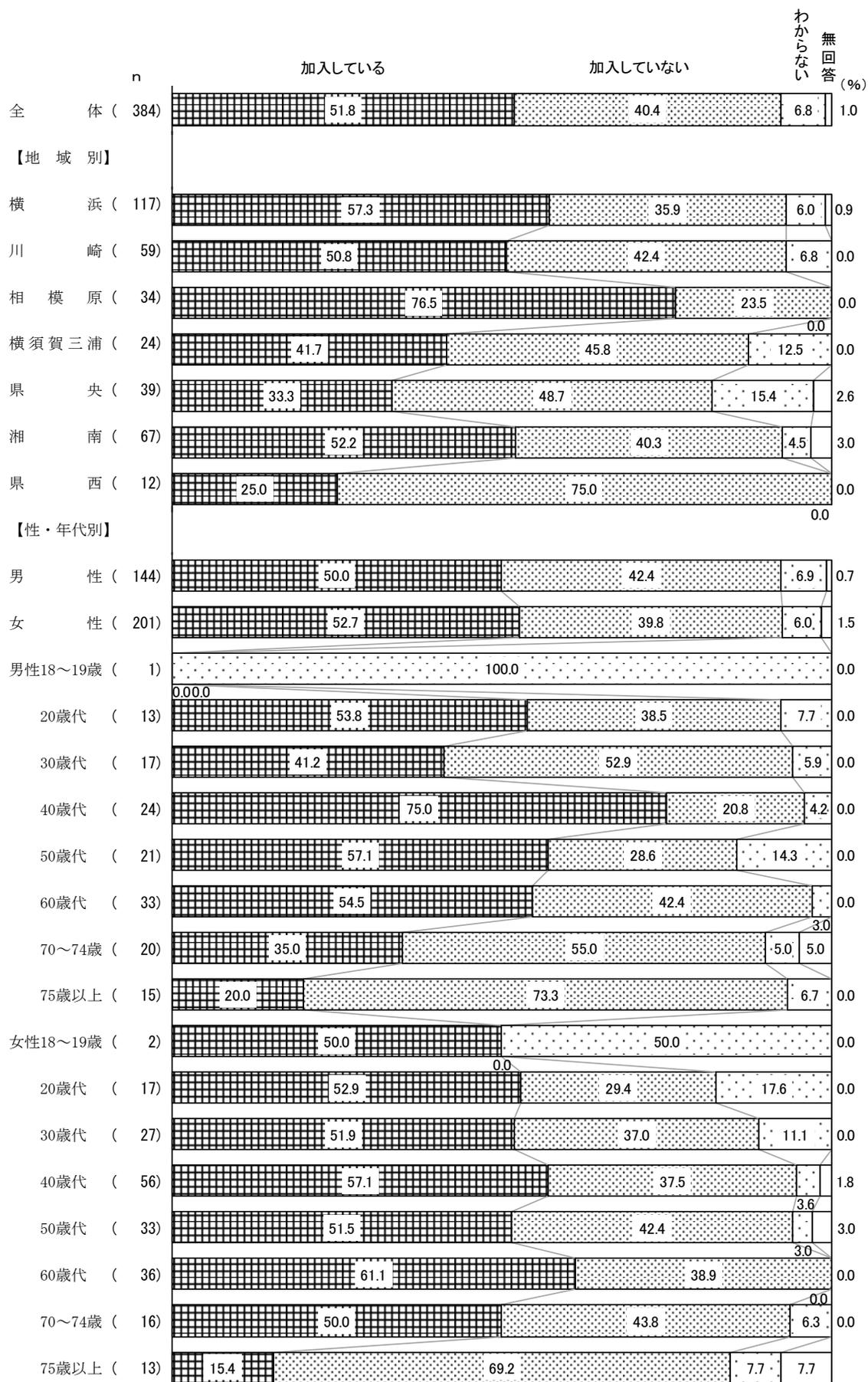
性別にみると、「加入している」は、女性（52.7%）が男性（50.0%）を2.7ポイントわずかに上回った。

性・年代別にみると、「加入している」は、男性の40歳代が75.0%で最も多かった。

一方、「加入していない」は、男女ともに75歳以上（男性73.3%、女性69.2%）が最も多かった。

（図表19-2-2）

図表19-2-2 自転車損害賠償保険への加入の有無—地域別、性・年代別



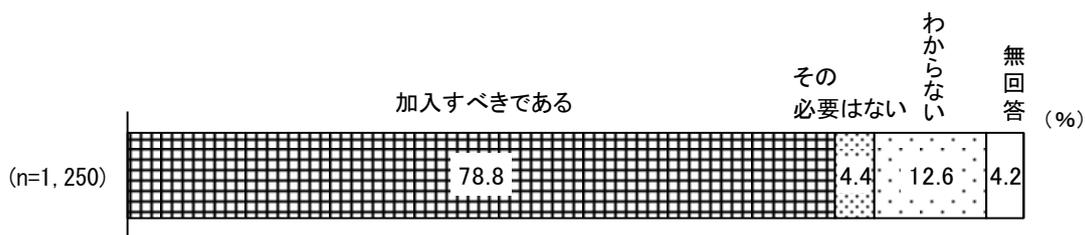
### 3 自転車損害賠償保険に加入することについての考え【問63】

#### 【全体の状況】

すべての自転車利用者が自転車損害賠償保険に加入することについてどう思うか尋ねたところ、「加入すべきである」は、78.8%と多かった。

一方、「その必要はない」は、4.4%であった。(図表 19-3-1)

図表19-3-1 自転車損害賠償保険に加入することについての考え



#### 【地域別の状況】

地域別にみると、「加入すべきである」は、相模原 (82.2%)、川崎 (80.7%)、横浜 (80.3%) がそれぞれ8割を超えて多かった。(図表19-3-2)

#### 【性・年代別の状況】

性別にみると、「その必要はない」は、男性 (6.5%) が女性 (3.1%) を3.4ポイントわずかに上回った。

性・年代別にみると、「加入すべきである」は、男性40～60歳代 (83.5%～85.6%)、女性の50歳代 (85.3%) がそれぞれ8割台で多かった。また、「わからない」は、サンプル数の少ない女性の18～19歳を除くと、男性の20歳代が29.0%で最も多かった。(図表19-3-2)

図表19-3-2 自転車損害賠償保険に加入することについての考え—地域別、性・年代別

